



今月は「サウジアラビア」を覚えてお祈りください

サウジアラビアは、中東・西アジアの国家。首都はリヤド。サウード家を国王に戴く絶対君主制国家で、アラビア語による国名のアル＝マムラカ・アル＝アラビーヤ・アッ＝スウーディーヤは「サウード家によるアラビアの王国」を意味する。世界一の原油埋蔵量を持つ国であり、石油(原油)をアメリカ合衆国をはじめ世界中に多く輸出している。

サウジアラビアの経済・政治・宗教について

サウジアラビアにおける信教の自由と人権は、おそらく世界で最も低い水準である。イスラム教以外の信仰の人々はサウジアラビアに住むことはできても、公に自分の宗教を实践することは許されていない。また、イスラム教以外の宗教的な目的のために、集まることすら許されていない。女性たちの権限は、運転、投票、仕事、および家の外の活動において制限されている。当局はキリスト教徒の駐在員を常に監視している。家庭においてさえ信仰を实践していることを見られれば、殴打、刑務所、追放、さらには処刑に直面する可能性がある。

サウジアラビアはイスラム教の発祥の地である。メッカを聖地としているイスラム教は、十数億人以上に対して強い影響力を持っており、それは今日、世界中の多くの文化にも影響を与えている。毎年、石油によって数十億ドルが世界中のイスラム教徒たちの活動やその宗教の推進のために用いられている。

サウジアラビアのその他の情報

面積: 2,240,000 km² (日本の約 5.9 倍) 人口: 34,566,328 (日本の約 28%)



首都「リヤド」



普通の町の様子



イスラム教の聖地メッカのカバ神殿

宗教:

イスラム教	92.41%
キリスト教	5.43%
ヒンズー教	0.78%
無宗教	0.66%
仏教	0.42%
その他	0.30%

「すべての肉なる者よ。主の前で静まれ。主が立ち上がって、その聖なる住まいから来られるからだ。」 ゼカリヤ書 2 章 13 節

祈禱課題

イスラム教の誕生地であり聖地であるサウジアラビアを覚えて

イスラム教はメッカを中心として世界中の十数億人のイスラム教徒を支配し、多くの文化に影響を与えている。主イエスがこの宗教の中心地を揺るがし、ご自身の主権を現してくださるよう。サウジアラビアにおいてイエス・キリストが栄光を現してくださるのであれば、世界中のイスラムは変わることができ、それに支配されている者たちは自由になることができるだろう。

イスラムの信仰を支配しているメッカを覚えて

すべてのイスラム教派メッカに向かって一日 5 回の祈りをささげなければならない。年間、約 200 万人もの人々がメッカに巡礼の旅をしている。これが多くのイスラム教徒の信仰の形をつくっている。暗闇がその心を覆っているので、真の神を知らずに神を求めて旅をしている。一人でも多くのイスラム教徒が神を求めていく中で生きておられるイエス・キリストに出会うことができるように。巡礼の旅をしている人々の中には、夢や幻の中でイエスに出会ったものも多くいる。

サウジアラビアのクリスチャンたちを覚えて

サウジアラビアにおける信教の自由と人権保護の水準は非常に低い。イスラム教以外の信仰を持つ人々もサウジアラビアに住むことはできるものの、自分たちの宗教を公に実践し集まることが禁じられている。宗教的な制限により、女性は運転や投票、また仕事や外出の自由が規制されている。当局は常にキリスト教の外国人居住者を監視しており、自宅での集会が発覚すると、暴行を受け、投獄や追放されることがあり、最悪の場合は死刑に処されることさえある。クリスチャンのコミュニティのために、力と知恵と勇気を祈らなければならない。また、外国人労働者が多いサウジアラビアで、クリスチャンたちがキリストの証人となれるように祈らなければならない。